

第29回日本がん分子標的治療学会学術集会

フラッシュトーク発表順

発表順	演題番号	氏名	所属	演題名
1	P1-3	寺島 祐樹	国立がん研究センター研究所 細胞情報学分野	RNAプロファイリングを用いた非喫煙者肺腺がんの新規融合遺伝子の発見と予後予測遺伝子の同定
2	P1-6	山田 麻奈未	大阪大学 薬学研究科 細胞生理学分野	RNA 脱メチル化酵素 ALKBH3 の酵素活性阻害化合物による膵がん治療創薬
3	P1-7	小林 裕章	防衛医科大学校 泌尿器科学講座	日本人の前立腺導管癌におけるp53およびRB1免疫染色による遺伝子変異予測能の検討
4	P2-4	野田 智幹	(公財) がん研究会 がん化学療法センター ゲノム研究部	Drug-tolerant persister細胞のシスチン代謝変容に基づいた耐性細胞出現の制御
5	P2-5	楠木 啓主	金沢大学 がん進展制御研究所 分子病態	ミトコンドリア内1炭素代謝酵素MTHFD1Lは乳がんの新規分子標的である
6	P2-7	福田 崇人	長崎大学病院 呼吸器内科	滑膜肉腫に対するエリプリンの薬剤耐性の克服方法の検討.
7	P3-1	武田 朋也	大阪大谷大学 薬学部 生化学研究室	HER3/Akt/mTOR経路を標的としたTNBC転移抑制の新たな治療戦略
8	P3-3	平石 鈴	富山大学 和漢医薬学総合研究所 未病分野	<i>In vivo</i> selection早期における肝転移性マウス繊維肉腫細胞株の遺伝子解析と治療標的の探索
9	P3-4	宗片 勇史	北海道大学 大学院歯学研究院 血管生物分子病理学教室	血管内皮への作用を介したβ遮断薬のがん転移に与える影響についての検討
10	P3-5	安達 晴喜	名古屋市立大学大学院 薬学研究科 腫瘍制御学分野	Ouabainはがん細胞選択的に細胞外小胞の分泌を阻害する
11	P4-3	山崎 昌哉	公益財団法人がん研究会 がん研究所 発がん研究部	大腸がんにおけるROR1高発現tumor-initiating cellsの機能解析と治療標的性の検証
12	P4-5	山本 頼仁	京都薬科大学 病態生理学分野	酸性条件下における膵臓がん細胞はAktのリン酸化の亢進により細胞増殖を維持する
13	P4-6	岩澤 智裕	慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室	シングルセル・空間トランスクリプトーム統合解析による、尿路上皮がんが免疫排除型の微小環境を形成するメカニズムの解明
14	P4-7	北村 穂乃香	大阪大学薬学研究科	膠芽腫幹細胞におけるHippoシグナル伝達経路を標的とする膠芽腫治療創薬
15	P5-1	上田 陽子	岐阜大学大学院医学系研究科 産科婦人科学	細胞内遊離ヘムレベル増強による難治性子宮頸がん細胞のArtesunate抵抗性の克服
16	P5-3	コノリー 里沙	北海道大学大学院環境科学院	タンパク質N末端との位置特異的バイオコンジュゲーションを利用したターゲティングリポソームの開発
17	P5-5	前田 侑也	北大院環境科学	癌細胞の生体内蛍光分子イメージングを指向しN末端を位置特異的に蛍光標識した抗体の調製
18	P6-1	寺島 実里	関西医科大学附属病院 呼吸器腫瘍内科学講座	Osimertinib投与中に薬剤性間質性腎炎を発症した肺腺癌の一例
19	P6-5	大橋 愛美	(公財) がん研究会・がん治療セ・分子薬理	新規CDK阻害剤Azalamellarin 4による細胞選択的な抗がん分子機序の解析
20	P6-6	SHAO YUJIE	東京科学大学 生命理工学院	Carboraneを基盤とする標的タンパク質分解のための疎水性タグシステムの開発
21	P6-7	橋本 創太	東京大学大学院薬学系研究科 タンパク質分解創薬社会連携講座	IAP-based PROTACによりリソソーム分解誘導される基質の同定と分解誘導機構の解明
22	P7-1	前川 和輝	広島大学 薬学部	EGFR変異によらない肺腺がん治療を目指した新規核酸医薬の開発
23	P7-2	白井 博之	愛媛大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座	microRNA-1260a抑制によるヒト口腔扁平上皮癌細胞の増殖阻害効果
24	P7-3	藤田 陽	横浜市立大学 生命医科学研究科	β-cateninを標的としたPPI阻害ペプチドの <i>in silico</i> デザイン
25	P7-6	中野 なおこ	昭和薬科大学薬学部生化学研究室	<i>TMEPAI</i> 遺伝子欠損は消化管腺腫自然発症モデル <i>Apc</i> ^{Δ716/+} マウスにおける消化管腺腫形成を抑制する
26	P7-7	横山 隆志	大学院総合研究部 医学域 生化学講座第2教室	TGF-β/Smad3により発現誘導されるTRIB1はMAPキナーゼ経路の活性化とC/EBPαの分解により肺がん細胞の悪性を促進する
27	P8-3	川中 雄介	近畿大学 医学部 内科学教室 腫瘍内科部門	小細胞肺癌への形質転換をきたしたEGFR遺伝子変異陽性肺腺癌に対して抗PD-1抗体薬が長期奏効した一例
28	P8-7	小野寺 威文	(公財)微生物化学研究会 微生物化学研究所 沼津支所	放線菌ゲノムにコードされるCD73/アデノシン経路阻害ペプチドの機能解明
29	P9-1	清水 和旗	岩手医科大学医学部	ゲムシタピン耐性膵臓癌に対するGlypican-1を標的とした抗体薬物複合体による新規治療薬開発
30	P9-2	加藤 琉威	岩手医科大学 医学部	頭頸部扁平上皮癌に対するGlypican-1を標的とする抗体薬物複合体の効果の検証
31	P9-6	飯田 敬太	北海道大学 薬学部	α線標識薬剤 ²¹¹ At-MABGの細胞障害性と免疫応答に関する検討
32	P9-7	三浦 一輝	東京科学大学 総合研究院 化学生命科学研究科	リガンド連結型光増感剤を基盤とするがん分子標的型光線力学療法の創出
33	P10-1	武井 祐樹	早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻	ALK陽性肺がん二次治療におけるZotizalkib、Gilteritinib、Neladalkib耐性変異の予測
34	P10-2	指宿 立	九州大学大学院 医学研究院 呼吸器内科学分野	IFITM3-MET相互作用がAKT経路の活性化を介して <i>EGFR</i> 変異陽性肺癌のオシメルチニブ耐性を誘導する
35	P10-4	小林 裕輝	東京理科大学 薬学部 生化学・分子生物学研究室	Gemcitabine耐性ヒト膵臓がんBxPC-3細胞の5-Fluorouracil感受性化機構の解析
36	P10-5	佐藤 聡	東京理科大学 薬学部 生化学・分子生物学研究室	ヒト大腸がん細胞における核酸代謝経路の調節を介した5-Fluorouracil耐性化機構